

授業でICTを効果的に活用できるようになるまでの3ステップ

～H28年度プロジェクト研究の取組を通して見えてきた道しるべ～

	ICTを活用した 授業づくりにおける主な課題	ICTを活用した 授業の到達目標	ICTの有効活用に向けた 効果的な研修
<p>HOP</p> <p>とにかくチャレンジ して慣れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器や、ソフトの使い方の習熟が必要。 ICTを活用すること自体が目的になり、適切な場面で活用できていない時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業でICTをスムーズに活用することができる。 話合いの基本的なスキルを身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用事例を知る。 ICTが使えないトラブル時の対応を知る。 ICT機器の設置場所・移動手段を、学校の実態に合わせ、工夫する。
<p>STEP</p> <p>ICT活用の 意図をもって実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用場面において、学習のねらいにせまる支援（意見の整理や、視点の焦点化等）の部分に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用意図を明確にもって授業づくりができる。 ICT活用場面において、学習のねらいにせまる支援を意識して行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用プランシートを活用し、活用意図を明確にした授業づくりを行う。 実践事例の交流。
<p>JUMP</p> <p>学びの質を高める ICT活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元を通してICTが有効活用できる時間や場面の見通しが不十分な時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元を見通して、ICTの有効活用が期待できる時間や場面の見通しをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観し、教科指導とICT有効活用の視点で授業研究会を行う。 他校との実践事例の交流、参観。

授業でのICT活用に向けて、段階に応じた目標設定をしながら研修を進めると効果的です。

